



こころざし

【学校教育目標】
夢の実現に向かって たくましく
挑戦する児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第 14 号

令和6年11月15日発行

文責 校長 多久島 一仁

一所懸命走って、楽しくプレイしました

11月8日（金）にマラソン大会とゲートボール交流会を行いました。本来は1週間前の11月1日（金）に行う予定でしたが、悪天候のために延期となっていました。

マラソンは、1年生が800m、3・4年生が1km、5年生以上が2kmを走りました。当日は、保育所の園児も参加し、小学生と一緒に頑張って走っていました。9月の暑い時期から体育の時間や朝の時間、放課後などを使って、これまで以上にマラソンの練習に取り組んでいました。自分の記録や限界に挑戦し、全員が最後まで一所懸命に走ることができました。

長距離走はきついですが、努力した分、結果になって表れる競技でもあります。また、走った後は爽快さもあるので、私もときどきジョギングをして心身の健康に努めています。

子どもたちが今回きつさを乗り越えて頑張ったことは、自信となってきっと今後の活動にも生かされることと思います。

マラソン大会終了後は、老人会の方々とゲートボール交流会を行いました。4チームに分かれてのトーナメント方式で、どのチームも2試合行いました。こちらにも例年以上に練習をしたので、ボールにきちんとスティックを当てることができ、「コーン」といい音を響かせている子どもたちが多かったです。また、事前にルールも少し勉強したので、老人会の方が言われる内容を理解してプレイする子どもが多かったようです。交流会終了後は老人会の方から賞品までいただ



きました。

老人会という名称がついていますが、皆さん、普段からよく体を動かされているので、ゲートボールの力量がすばらしく、子どもたちも尊敬の念を抱いたのではないかと思います。いつまでもお元気で、また来年も子どもたちと一緒に楽しくプレイしていただきたいと思います。



ぶつからないラグビーをしました

11月6日（水）に、九電グループの方に
おいいただき、2時間目は4～6年生が電
気について学び、3、4時間目に小学生全員
がタグラグビーを体験させてもらいました。



九州電力には、「KYUDEN VOLTEX」という
ラグビーチームがあり、「ジャパンラグビー
リーグワン」というリーグで試合をされてい
ます。



タグラグビーは、だ円形のボールを持って
走り、味方にボールをパスします。キックも
なく、腰に付けた2本のひらひらしたタグ
を、お互いを取ったり取られたりしながら、
ボールを持って相手ゴールを目指すというスポーツです。自分より前にパスすることがで
きず、タグを取られたら、取られた位置で止まって、後ろにパスしなければなりません。
ラグビーはタックルやスクラムがありますが、そういったぶつかり合いはなく、怪我が少
ないスポーツです。

最初はウォーミングアップを兼ねて、ボールのパスなどから入りました。後ろを振り向
いてのパスなどは、ラグビーらしさを感じました。4人でボールを取り合うゲーム（3個
取った人の勝ち。相手の陣地からも可。）は、体育大会の芋取りを思い出しました。腰に
つけたタグの取り合いもかなりいい運動でした。最後はヴォテクスの選手の方や先生も加
わって、ゲームをしました。ぶつからないとはいえ、相手のタグを取るため、かなり激し
い動きを見せていました。

最後のあいさつの時にはタグラグビーセットをいただき、みんな大喜びでした。今年度
は児童生徒数が増え、こうした集団スポーツもできる喜びを感じています。

